

洗車は1

2012年度年

三愛石油年間グラン

		タイヤ
2011年度	第1期	国際油化武蔵溝ノ口
	第2期	国際油化武蔵溝ノ口
	第3期	丸石運輸ハートプラザ矢本
	第4期	シノハラオイル狭山自動車検査場
	年間	国際油化武蔵溝ノ口
2012年度	第1期	三愛石油販売OS犬山
	第2期	三愛石油販売OS犬山
	第3期	宇野石油エクスプレス根尾川大橋
	第4期	国際油化厚木戸室ニュータウン
	年間	三愛石油販売OS犬山

※OSはオプリステーションの略

ル、エアコンフィルターなどは、SSの都合で点検・商談・成約につなげるべきものではない。これは「押し売り」以外の何物でもない。通年で点検に取り組み、交換時期を迎えた車を発見したら、報告・見積もり・成約につなげるべきだ。

別表は、商材別のシン・チャンピオンと年間

甚目寺(中部)▽二位 国際油化精華町▽三位 北陸

エバーグリーン加藤社長に聞く

廃LLC再資源化など廃棄物処理・リサイクルでSS業界と密接に協力するエバーグリーンが四月、本社を東京丸の内郵便ビルに移転した。創業四十周年にあたり都内に本社機能を移した理由を、加藤栄作・代表取締役社長に聞いた。



加藤社長

「千葉R&Dセンタ 現在は企業評価においてとは別に首都の中心部へ本社を移した狙いは、サイクルが厳しく問われる時代。当社の廃棄物処理事業に、少しでも顧客企業から信用・信頼を得

廃棄物適正処理でSSと協力

技術革新など一段の成長目指す

「今年には創業四十年という節目の年でもある顧客の理解を得て四十年目を迎えられることに深く感謝する。当社の「未来の地球に対する強い思い」に共感し、社会貢献として廃棄物処理を捉える人が増えてきた。

「廃棄物処理業界の現状は、業界全体はいまだ成長途上。以前は「速い/安

「ただけが幅を利かせ、採算性の悪さがほかの成熟産業のような成長を阻んできた。その中でも当社は廃棄物100%再資源化に取り組んできたが、最近では環境保護の社会意識が高まり、今後さらに事業の信頼性が成長の鍵になると考えている。

「貴社の今後の成長への取り組みは、すでに広く回収エリアをもつ強みを生かし、全国に処理プラントを置いて顧客サービスの拡充・強化に取り組む。技術革新により、再生燃料を一段とクリーンで使い勝手

「SS業務における環境負荷抑制は、クーラント回収や油水分離層の清掃など実際は小さなことの積み重ね。ただ社会全体で環境意識が強まるなか、当社が協力するSSの環境対策は一段と重要度が高まっている。当社の若い社員も夢と情熱をもって働いており、廃棄物適正処理で一段と強い協力関係を築いていく。

創業40周年で都内に新本社

年間